

南くりこま高原

いち はさま

一迫ゆり園

「何もない町」と言われてはたまらない。

そんな気持ちで若手15人が、「まちおこしユリの会」を結成し、旧一迫町の支援等を得ながら2万5千㎡の「ゆり園」をつくりました。そして、あやめ園と合わせて「一迫花祭り」を開き、多くの来園者を迎えて、町の活性化に役立てたいと、「南くりこま高原一迫ゆり園」を開園しました。

現在は3万㎡の園に拡張し、やまゆりの森やヘメロカリス園も整備し、6月中旬から7月下旬まで、ユリ2百品種15万球、ヘメロカリス50品種2万株が美しい花や香りで、訪れた人々の心を和ませてくれます。

- と き** 令和元年6月21日(金)~7月下旬 8:30~17:00
- と ころ** あやめ園から車で5分
南くりこま高原一迫ゆり園 ☎0228-52-4551
- 交 通** ◆仙台駅から「東日本急行」一迫総合支所直通バス……20分
◆東北自動車道築館インターより……20分……20分
◆東北新幹線くりこま高原駅下車、タクシー……25分 ……25分

入園料

- ◆一迫ゆり園入園料
一般……670円
高校生~小学生……310円
【団体20人以上】
一般……535円
高校生~小学生……250円
- ◆あやめ園&一迫ゆり園共通入園料
一般……1,030円
高校生~小学生……500円
【団体20人以上】
一般……820円
高校生~小学生……400円

<http://ichihasama-yurien.jp/>



周辺地区案内 あやめ園から車で所要時間

花山総合支所 ☎0228-56-2111

- 青少年旅行村(花山ダム)……20分
- 国立花山少年自然の家……30分
- 寒湯御番所跡……40分
- 道の駅 路田里はなやま 自然薯の館……20分
- 千葉周作ゆかりの家……15分

栗駒総合支所 ☎0228-45-2111

- 栗駒山いわかがみ平……80分
- 栗駒山世界谷地……80分

鶯沢総合支所 ☎0228-55-2111

- マイナパーク……25分

いちはさまの観光案内

- 一迫観光協会
(栗原市一迫総合支所市民サービス課内)
宮城県栗原市一迫真坂字清水田河前 5
☎0228-52-2114
ホームページ <http://kuriharacity.jp/>

栗原市の観光・ツアー案内

- 一般社団法人 栗原市観光物産協会
(JR くりこま高原駅内)
☎0228-25-4166
ホームページ <http://kurihara-kb.net/>

第37回

栗原市一迫

あやめと鹿踊りの里

やっぱり あやめは いちはさま

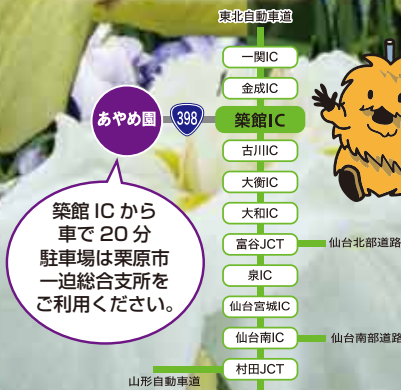
令和元年
6月14日(金)
▼
7月3日(水)

8:30~17:00
入園料大人510円
小学生~高校生250円

第34回
みちのく
鹿踊大会
6月16日(日)

第32回
あやめ祭り
神楽大会
6月30日(日)

南くりこま高原
一迫ゆり園
6月21日(金)
~7月下旬



築館 IC から
車で 20 分
駐車場は栗原市
一迫総合支所を
ご利用ください。

一迫山王史跡公園あやめ園 一迫観光協会 電話/0228-52-2114
(宮城県栗原市一迫真坂字道清地内) (栗原市一迫総合支所市民サービス課内)

アヤメ・カキツバタ・ハナショウブの咲く、花の文化をふまえた「あやめ園」です。

あやめまつり

とき 令和元年6月14日(金)～7月3日(水) 8:30～17:00

ところ 一迫山王史跡公園あやめ園

主なイベント 第34回みちのく鹿踊大会(6月16日)
第32回あやめ祭り神楽大会(6月30日)
土日に野点・民謡・民舞・歌謡・紙しばい等のイベントを開催
山王考古館・埋蔵文化財センター 山王ろまん館の無料開館(月曜日休館)

入園料

〈あやめ園入園料〉

一般…510円／高校生～小学生…250円
◎団体20人以上
一般…410円／高校生～小学生…200円

〈あやめ園&一迫ゆり園共通入園料〉

一般…1,030円／高校生～小学生…500円
◎団体20人以上
一般…820円／高校生～小学生…400円

交通

仙台駅(旧さくら野前)から「東日本急行」
一迫総合支所直通バス……………70分
東北自動車道築館インターより……………20分
東北新幹線くりこま高原駅下車、タクシー…20分

施設

- ・野外ステージ、
- ・休憩所(特設テント100人収容)
- ・売店等

駐車場

- ・一迫総合支所駐車場(あやめ園まで300m)
150台収容可能

みちのく鹿踊大会 ししおどり 6月16日(日)午前9時30分～



あやめ祭りのハイライトのイベントです。『民俗芸能』の持つ勇壮さ、素朴な味わいを十分にお楽しみください。開会式・演技はあやめ園内で開催します。
【県内外6団体の競演予定】

あやめ祭り神楽大会 6月30日(日)午前9時10分～



農民芸術とも言われる伝統的郷土芸能をダイナミックに、そして華麗に表現します。『道化踊り』の披露もあり、あやめ園内特設ステージで行われます。
【県内外10団体の競演予定】

一迫山王史跡公園 あやめ園

「一迫山王史跡公園あやめ園」は、昭和51年遺跡保存整備事業の一環として誕生し、老人クラブ、婦人会等の民間団体と旧一迫町が一体となって整備に努めました。そして、アヤメ、カキツバタ、ハナショウブの三種類の花が見られるほか、次のような「あやめ文化」を踏まえた特色のある「公営あやめ園」として知られています。

1. ハナショウブの代表的品種をはじめ、「長井古種」「江戸古種」「変わり花」等が植栽されています。
2. ハナショウブの改良過程が理解できる、「改良歴史園」が設置されています。
3. ハナショウブの原種「ノハナショウブ」を植栽し、種の保存に努めています。
4. アヤメ類(イリス属)理解のための「標本園」が設置されています。

アヤメ

5月下旬～6月上旬頃



本園には、山野に自生する青色、白色のほか、桃色、藤色、赤紫などの「設楽系」改良アヤメが多く植栽されています。アヤメは、水はけがよく、日のよくあたる場所が最も植栽に適しています。

カキツバタ

5月下旬～6月中旬頃



原種は三弁の青色・白色の花であるが、「舞孔雀」のような多弁花もあり、藤色・白色などの種類もあります。水を好むので、浅い池や堀の周辺が最も植栽に適しています。

ハナショウブ

6月中旬～7月上旬頃



本園には、原種の「ハナショウブ」をはじめ「長井古種」「江戸系」「伊勢系」「肥後系」の花が咲き誇ります。雨の日などに少しの水のたまるような場所が植栽に適しています。

早川流鹿踊の由来 ししおどり



みちのくは芸能の宝庫といわれている。その中でも、最も古典的で勇壮な踊りとして、昭和46年3月宮城県無形民俗文化財に指定されています。

この鹿踊は今から約420年前の慶長2年、伊達領内に住む獵師山立勘太郎が、岩倉山に狩猟にでかけた際、8頭の鹿が連れだって拍子面白く腹を叩いて踊り狂う様子を見て、ヒントを得、創作したと伝えられています。

仙台の藩祖伊達政宗公が、この勇壮な踊りを非常に愛好され、毎年青葉城に来て踊るようにと「行参」の2字を賜り、また、伊達一門の九曜の星の紋を許されて、格式の高い貴重な郷土芸能として伝承されています。